

## 補足 血球貪食症候群

### 臨床症状・検査所見

#### (1) 臨床症状<sup>1,2)</sup>

発熱、貧血、播種性血管内凝固症候群(DIC)など

#### (2) 臨床検査所見<sup>1,2)</sup>

汎血球減少、肝機能障害、フェリチン上昇、高トリグリセリド血症、低フィブリノーゲン血症、低アルブミン血症、低ナトリウム血症、LDH上昇、可溶性IL-2R濃度上昇

#### (3) 画像検査所見<sup>1)</sup>

肝脾腫

#### (4) 病理組織所見<sup>1)</sup>

血球貪食像

#### 参考文献

1) Filipovich AH. et al.: *Hematology Am Soc Hematol Educ Program*. 127. 2009

2) 辻 隆宏 他.: *血液内科*. 63: 690, 2011

### ガイドライン等による対処法

- 血球貪食症候群は、一般的に急速に状態が悪化する可能性があるため、検査所見などから血球貪食症候群が強く疑われる場合、治療開始を検討することが推奨されます。  
治療には、副腎皮質ホルモン剤、化学療法、免疫抑制剤などが用いられます<sup>1,2)</sup>。
- 副腎皮質ホルモン剤の長期投与が必要な患者に対し、日和見感染予防が必要であるとASCOガイドライン<sup>2)</sup>に記載されています。

#### 参考文献

1) Filipovich AH. et al.: *Hematology Am Soc Hematol Educ Program*. 127. 2009

2) Schneider BJ. et al.: *J Clin Oncol*. 39: 4073, 2021

重症筋無力症

心筋炎

脳炎・髄膜炎・脊髄炎

重篤な血液障害

重度の胃炎

ぶどう膜炎

血管炎

血球貪食症候群

結核

Infusion reaction